

2019年1月15日

小金井市教育委員会生涯学習部 藤本 裕 様  
小金井市環境部 柿崎健一 様  
(写 東京都教育庁 地域教育支援部管理課)  
(写 東京都環境局)  
(写 東京都水道局 経理部管理課)

大石 征夫  
(森林インストラクター、小金井自然観察会代表、  
小金井玉川上水の自然を守る会会員)

### 「小金井桜復活事業」樹木伐採についての要望書

先日は「小金井桜復活事業」の伐採予定樹木の現場確認に寒い中、またお忙しいところ、水道局、東京水道サービス、伐採工事の請負業者東山園の方々と、小金井市は生涯学習部高木さんに参加して頂きましたことを感謝いたします。

私は、「造園施工管理技士」の資格を取得し、長年植栽及び植栽管理の仕事をしてまいりました。現在は森林インストラクターとして、自然観察会を開催し、身近な自然のしくみや楽しみ方を案内しております。市内では野川公園で毎月1回の定例自然観察会を続けております。玉川上水も小金井地区に残された緑地として素晴らしいものと思っています。この度は玉川上水の整備作業における伐採樹木について、初めて残してもらいたい樹木の要望を致しました。事前調査を行い図面を作成して臨みました。立会後に作業変更をまとめて報告して頂きました。送られて来ました資料によりますと、『伐採』を『剪定』に変更してもらえたものが十数本になります。このことは立会をして頂き要望した甲斐がありました。しかし、『剪定』に変更になったのは「イロハモミジ」がほとんどで、No3やNo13のケヤキ等の大木は全て『伐採』のままとなり、残念な思いです。

「小金井桜復活事業」樹木伐採工事の今後の作業について以下のことを要望いたします。

1. 皆伐された場所は、自然環境的には劇的な変化となります。太陽光がまともに大量に降り注ぎ、半日陰を好む低木や草本（野草）のヤマユリ、キンラン、シュンラン、ニリンソウなどは消滅していくこととなります。さらに日陰を好むシダ類は生育ができなくなり、乾燥に強いものが残ることとなります。現に、外来種（帰化植物）のヨウシュヤマゴボウ、ボタンクサギ、ヒメジョオン等が増えています。特にアメリカオニアザミは膨大なタネを飛ばし、強力なトゲがあるので抜き取り、除草が困難で今後爆発的に増えてしまうのではないかと危惧します。在来種でも「クズ」や「ヤブカラシ」等のつる植物は太陽光を好み、繁殖力が旺盛なので他の植物に覆いかぶさり下の植物が生育できない状態になっています。

「小金井桜」の生育に支障を来たす樹木は伐採するという事ですが、それは支障のない樹木は残して良いということになります。1本でも多くの樹木を残し、皆伐しないよう要望します。

2. 今回の立ち合いで感じられたのは、ムクノキやエノキの大木もたくさん伐採される予定であるということです。ムクノキ1本、エノキ1本でもたくさんの生きものが恩恵を受けています。

地中の根から栄養を摂取する昆虫がいますし、多くの昆虫は幼虫時代には木の葉を食料とします。ご存知のように幼虫の食べる葉（植物）はそれぞれが違う種類のもを食べ、中には1種類だけしか食べない偏食のものもいます。色々な昆虫が生きていくためにはいろいろな種類の植物が無ければなりません。秋の実や野鳥や哺乳類が生きる糧とします。野鳥たちは子育ての時の餌にタンパク源として多くの昆虫が必要となります。この様に生きものはそれぞれつながりがあり、いろいろな生きものが住める玉川上水の大切さ、生物多様性の重要性を評価していただき、今後の作業に反映していくことを要望します。

3. 玉川上水は小金井市に残された貴重な緑地です。そして、羽村から連続して带状に続き、生きものが行き来する緑の回廊になっていることが、上記に書きましたようにとても重要です。

小金井市内を流れる玉川上水は小金井市だけのものではなく、上流も下流にもいろいろと影響があることも考慮する必要があります。我々にとって、貴重な緑地を後世に残し、住みやすく快適な環境を維持していく責務もあると思います。緑の回廊をとだえさせないか？との懸念について、見解を求めます。

4. 工事が終わった後の確認、工事完了検査は誰が行うのか知りたいところです。ご回答願います。

5. 伐採後の維持管理計画書の作成を要望します。

既に伐採した樹木は萌芽（ぼうが）してたくさんの「ひこばえ」が生えて来ています。

このまま放置すれば生長の早い落葉樹は小金井桜の生長に支障を来し、景観的にも良くありません。萌芽したものを間引きし、ある程度大きくなったものは剪定が必要です。

現在のところ、「レッドデータブック東京」の北多摩地区では「アマナ」、「アズマイチゲ」、「キツネノカミソリ」など、絶滅危惧Ⅱ類となっているものや「イチリンソウ」等の可憐で貴重な野草が細々と生き残っています。このような昔から命を繋いできた貴重な野生植物が美しい花を咲かせるためにはその草刈り時期と回数を検討していただかなければなりません。

5年先、10年先の管理作業はどうするのか、長期管理作業計画の作成を切に要望いたします。

以上、要望に対する見解を含め回答を求めます。